

Y M C A国際ビジネス専門学校 学校関係者評価委員会議事録

日 時：2021年11月12日（金）15：00～17：00

会 場：YMCA国際ビジネス専門学校 3階31教室

出席委員：山下幸絵 委員(ハイアットリージェンシー東京)

井上裕太 委員(株式会社ジェイ・ケイ・コネクト)

欠席委員：山田啓介 委員(YMCA福祉専門学校 卒業生)

(敬称略・順不同)

1. 開会

聖書：愛をもって心から尊敬しなさい。互いに平和に過ごしなさい。(テサロニケⅠ 5：13)

2. 校長挨拶

立花より挨拶。

学校関係者評価委員会の趣旨および学校の状況を説明した。コロナウイルス感染拡大の影響により、今回が第1回目となる。学生は厳しい状況ではあるものの、内定を受理した学生がいる。それぞれの立場から、現在の現場状況や就職活動についてご報告いただきたい。次年度以降のカリキュラムや学生指導、または新たな取り組みを検討する機会とする。

3. 自己評価結果報告

立花より自己評価結果報告の記載事項の説明を行った。

4. 委員による討議・意見交換

①学生状況についての詳細を専任教員の太谷より説明を行った。

1年生1名ベトナム学生が多いことや、日本語学科から内部進学した学生もいる。現時点では退学者がいなく、誰もが目標をもって勉強に励んでいる。2年生14名はネパールが多い。内定者3名、帰国予定2名、進学1名、就職活動は8名。学生たちはリゾート中心にエントリーを行っているようで、殆どがオンライン面接となっている。インターンシップは、夏に一部の学生が行い、来年2月は実習に行くことができなかった学生全てが実習できることとなった。冬休みは希望者となっているが、6名の学生がエントリーした。実習先は苗場プリンスホテル。

②ホテル及び就職活動の現場状況について

ハイアットリージェンシー東京 山下委員（以下、山下委員）よりホテル現場の状況説明があった

経営状況は厳しく、早期退職者(730歳以上が対象)を募り、約500名いたスタッフを300名程まで減らした。これから求められる人材は「マルチタスク」。業務は多岐にわたり、ホールの裏方に回ったり、時には食事を運んだりする。スタッフは様々なセクションで仕事をこなすことが求められ、現在残っているスタッフや採用したスタッフも、その事を理解している。

太谷より

本校よりエントリーした学生がいたが結果は不合格だった。思った以上にエントリーがあったのではないか。

山下委員より

おかげさまで、状況が悪く広報が遅れたが、思った以上の応募があった。結果来春の新入社員は30名で内留学生は3名。

株式会社ジェイ・ケイ・コネクト 井上委員（以下、井上委員）より就職活動の指導について報告あり

コロナウイルス感染拡大の影響前は、約300名を指導し社会に排出してきた。しかし状況は変わり就職先を紹介することが大変である。採用側もそうだが、文系/サービス系の面接対応は非常に難しく、事実1回の面談ではその人物の事はわからない。そして、苦労して就職しても2-3年で転職するケースがある。以前の留学生ならば、バイタリティがありガッツがあったが、最近の留学生は就職する気持ちが薄れているように思う。また、先輩たちはN3レベルで就職できたことが、現在の学生たちを「何とかなる」と思わせているのではないか。

山下委員より

日本人は第一印象で大体の事がわかる。留学生はたとえ笑顔が素敵で書類も完璧であっても、日本語で意思疎通ができないと採用までに至らない。また英語ができるならば、それがアドバンテージとなり採用につながるケースもある。まずは、新入社員は配置された場所で頑張れる人が最終的に求められるし、生き残っていける。

井上委員より

観光地がにぎわっているので、少しずつ状況は良くなっているのではないか。Go To トラベルも動き出すようだが。

山下委員より

都市部はまだ厳しいもの、観光地は徐々に人が戻ってきているようだ。そのため地方からは人の応援依頼が来ているが、今後は本社の人数にも限りがあるため、今までのように本社から人材を派遣できなくなる可能性がある。

井上委員より

ハイアットリージェンシーは、清掃は外部委託なのか。

山下委員より

清掃はアウトソーシングしていて、客室は委託会社で最後の確認はスタッフがやっている。

立花より

来春入る方の男女比率や、ホテル内部の女性の働きやすさはどうなのか。ホテル業界は1日の稼働時間が長いため、どのような対応になっているか知りたい。

山下委員より

来春入る新卒者は女性の比率が高い。ハイアットリージェンシーは、女性が働きやすい職場だと思う。また自分も含め管理職や産休/育休復帰者が働いている現状があり、女性が長く働けるロールモデルがある。それよりも男性が育休を取ってもらえるようになってほしい。

②企業として期待する人材

山下委員より

新しい体制となるハイアットリージェンシー東京は、マルチタスクの人材を求めている。少数精鋭で今

後運営していく。そのために、色々な仕事に挑戦する人材を必要としている。

井上委員より

地方（観光地）は雇用調整助成金で対応していると思うが、直ぐに人を雇う事はできない。そのため、本社や臨時的に人を採用することになるだろう。

大谷より

本校でも必要とされる人材育成を行い、状況によってはカリキュラムに「マネジメント」を取り入れる事や、英語その他外国語ができる人材を育成していきな。

5.閉会

次年度の募集状況は非常に厳しく見通せない。しかし、現在1年生が来年就職活動を行っていくので、そのためにもご協力を賜りたい。本日いただきたい意見を反映させながら、学生支援の場面で実践していけるようにしていきたい。

以上

(文責：立花明美)